金属業界も採用増える 熱中症、加湿対策製品「クールミストLine」の販売好調

エアーと水で労働環境改善

東横サポート
山田一徳社長に聞く

工場や作業場の冷却・加湿装置を製作・販売する東横サポート（本社＝東京都町田市）は、熱中症対策や冬の加湿対策として一年中使用できる「クールミストLine」を販売開始から4年目で5000台近い販売実績をあげている。熱中症対策としては、高炉メーカーや大手スクラップディーラー、自動車メーカー、タイヤメーカーからの受注も獲得。エアーと水だけで労働環境を改善し、大幅なコスト削減が見込め、中小零細企業でも導入しやすくなっている。山田一徳社長に話を聞いた。

――熱中症対策製品としての「クールミストLine」の性能について。

「コンプレッサーのエアーと水を独自の技術でミキシングし、気化熱の原理で超微粒子（15μ）のエアーを噴射するが作業者が濡れない仕組みになっている。1人につき1台使用する方式でスポットクーラーと比べて冷却範囲が広いのも特徴だ。畳一畳強分ほど冷却できる。作業者の背中上部で配管などに220―30㎝の高さで、作業者から80―120㎝離して設置し、作業者の体全体を冷やす事ができる。環境によっては40度から体感で26―7度まで冷却できる。スポットクーラーに比べて、気化熱のため湿度も抑えられる。エアーと水の混合比でミストを遠くまで飛ばし冷却範囲も調整できる」

――冬場の静電気防止にも利用できる。

「静電気が発生することで、金属業界でも異物が製品に付着したり、作業者の不快感も増す事が予想される。濡れないので印刷所のようなデリケートな場所にも加湿装置として活用できる。コンプレッサーのエアーと水を調整すれば、例えば夏は湿度を70％から下げる事ができ、冬は20％から50％近く上げることができる。常に適度な湿度が保てる製品だ」

――ミストは濡れるというイメージは強かった。

「気化熱の原理なので、濡らさずしかも応用が利く。多種多様の業界で利用出来る。冷却エアーカーテン、人員を要する配送関係の工場、農業関係からも問い合わせも頂いている。農業では冷却したいけど、葉は濡らしたくないなどの要望・相談を受けている。人体の害のない除菌・消臭剤入りのミストを出したり、インドア、アウトドア問わず冷却・加湿だけでなくいろいろな用途に二次利用する事も現在検討している」

――コストについて。

「導入コストが安くスポットエアコンのように大きな設備投資費がかからない。電気使用量もエアーコンプレッサーの電力のみでランニングコストを大幅に抑える事ができる。水の使用量も1台当たり1日4㍑程度で、水道代も安い。他社製品から乗りかえて頂いた顧客からもコスト面でも満足して頂いている」

――取り付けについて。

「室外機や冷却配管などは不要で自社で取り付けが可能になっている。水回りがあればどの場所に使用できる。45㎝のフレキシブルアームが付いているのでミストの方向も自由に調整できる。設置用ポールもあるので、取り付け場所がなくても十分対応できる」

――メンテナンスは。

「管理・メンテンスは容易だ。従来品だと水に含まれる炭酸カルシウムは、ノズルに詰まりやすいが、エアーの力でミストを排出しているため、ノズルが詰まらないようになっている。本体は10年以上の寿命があるとみている」

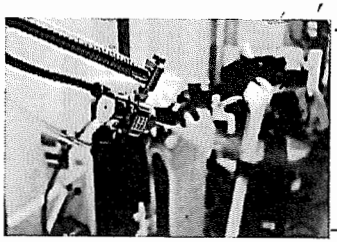
――金属業界でも急速に採用され始めた。

「7月の猛暑対策展を機に販促を開始した。全くの異業種への売り込みには当初戸惑いもあったが、濡れないと言う事は錆びないと言う事だ。高炉メーカーは審査が厳しく、色々など意見も頂いたが、現場スタッフに認められ採用に至った。金属業界に販売を開始してからまだ4カ月だが大きな自信になった」

――販売のきっかけについて。

「我が社はもともとクリーニング業界でスクールの運営やしみ抜きの装置を販売していたが、リネンサプライヤーやクリーニング店から暑さ対策の相談を受け、開発・研究を重ねた。我が社の従業員も皆リネン業界で働いた経験があり、身を持って暑さ対策の重要性を知っている。そこが我々の原点だ。年間400人もの方が熱中症で倒れている。加湿や除菌にも活用できる。皆様のお役に立てればこんな嬉しい事はない」

（西城　友勝）



低コストで工場を冷却・加湿する「クールミストLine」